

## 京都大学グローバル COE プログラム 「心が活きる教育のための国際的拠点」

### <活動概要>

本プログラムは、京都大学の心理学および教育学の研究者が有機的に連携しながら、国際的に活躍する有為な人材育成のための新たな拠点を形成するものである。具体的には、「心が活きる教育」とはどのようなものかを解明し、それをどのように理解し、あるいは実践していくかについて、教育学研究科（教育科学専攻、臨床教育学専攻）、高等教育研究開発推進センター（第一部門）、文学研究科（行動文化学専攻）、人間・環境学研究科（共生人間学専攻）、「こころの未来研究センター」に所属する心理学および教育学の研究者が参加して研究拠点を形成し、拠点リーダーが全体を統括しながら、(A)「心が活きる」とはどのようなことか、逆に「心が生きていない」状態とはどのようなものかを研究する基礎過程、(B)「心が活きる」ために必要な制度設計と、それを社会に説明し実際に運用する仕組みについて研究するシステム、(C)「心が活きる」ために有効な心理的サポートや教育的かわりのあるあり方について研究ならびに実践を行うサポート、(D) 以上の各ユニットが提案する理論・実践を「心が活きる」という観点から評価し、同時に国際共同研究として「幸福感の国際比較研究」を実施する開発評価、という4つの研究ユニットを中心に高度な水準のユニークな研究を進めている。

人材育成の面では、心が活きる教育ということについて心理学・教育学の観点から深く考えることのできる高度の専門性と幅広い視野を持ち、外国語による論文の投稿や国際学会での発表など、国際的に情報発信ができる人材を育成するために、心理学・教育学の大学院教育を拠点全体で担う教育体制を一層整備・充実すると共に、国際拠点形成の活動として、米ミシガン大学、英ランカスター大学、中国中央教育科学研究所、北京師範大学、独ベルリン自由大学、英ロンドン大学教育研究所などの世界的研究機関との間に築いてきた学術交流協定に基づく教育・研究活動をさらに展開し、京都大学を世界中の心理学・教育学の研究者が研究の発展を求めて集まる拠点としている。また、広い視野から深く考え、心と教育に関する諸問題の解明・理解・実践に貢献しうる人材の進路が、大学等の研究機関のほか、官庁・企業等にも広がるよう、その支援体制を一層整備してきた。

博士課程学生を含む若手研究者のテニユア取得にいたるまでの支援としては、大学院生に対する競争的人材育成経費（海外留学資金、院生養成プログラム研究費、研究開発コロキウム）の支援、公募によるポストドク研究員の採用、国際的公募による助教の採用、および、テニユア取得以前、あるいは、テニユア取得からまだ年数の浅い30歳代の若手教員に対する競争的研究費の支援などを行っている。

平成23年度は、5年計画の最終年度にあたり、予定通りの活動を着実に実施した。拠点の様々な活動を通じて、心理学と教育学が交差する新たな教育・研究領域の創成をはかり、京都大学の内部は言うにおよばず、学術全体における人文科学の発展に貢献し、社会の改

革や改良に資する学術的情報を提供し、自らも有効かつ効果的な教育実践を行ってきた。

<講演会・シンポジウム・ワークショップ>

第10回東西哲学会議

TENTH EAST-WEST PHILOSOPHERS' CONFERENCE,

Value and values: Economics and justice in an age of global interdependence

企画：子安増生（教育学研究科）

日時：2011年5月16日（月）～5月24日（火）

場所：Imin Conference Center, Jefferson Hall, East-West Center, Honolulu, Hawai'i

発表者：Carl Becker (Kyoto University), Tsutomu Sawai (Kyoto University), Naoko Saito (Kyoto University), Masuo Koyasu (Kyoto University), Shoko Suzuki (Kyoto University)

マイケル・シーガル教授講演会（第34回グローバルCOE 主催講演会：ユニットD）

企画：子安増生（教育学研究科）

日時：2011年6月2日（木）16時30分～18時00分

場所：京都大学教育学研究科2階 中央実験室

<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/access.htm>

講師：マイケル・シーガル（英シェフィールド大学教授）

演題：Is language the key to reasoning?

ターハン・カンリ博士講演会（第35回グローバルCOE 主催講演会：ユニットA、玉川大学GCOE後援）

企画：野村理朗（教育学研究科）

日時：2011年6月9日（木）10時30分～12時30分

場所：京都大学教育学研究科2階 中央実験室

講師：ターハン・カンリ（米ストーニー・ブルーク大学准教授）

演題：Gene regulation in the human brain

Tristan Bekinschtein 博士講演会（第36回グローバルCOE 主催講演会：ユニットA）

企画：齊藤 智（教育学研究科）

日時：2011年6月13日（月）14時00分～15時30分

場所：京都大学教育学研究科 本館2階 中央実験室

講師：Dr. Tristan Bekinschtein (MRC Cognition and Brain Sciences Unit, Cambridge, UK)

プロジェクト活動①：京都大学グローバル COE プログラム「心が活きる教育のための国際的拠点」

演 題：Abstract conditioning is modulated by attention and consciousness

Goodwin 教授講演会（第 37 回京都大学グローバル COE 主催講演会：ユニット B）

企 画：楠見 孝（教育学研究科）

日 時：2011 年 7 月 11 日（月）17 時 00 分～18 時 30 分

場 所：京都大学教育学部（本館）1 階 第一会議室

講 師：Robin Goodwin 教授（英国 Brunel University 教授）

演 題：Modeling the psychological impacts of major societal changes and challenges: A new, integrative model.（大規模社会変動による心理的影響のモデル化：新たな統合モデル）

増田貴彦博士講演会（第 38 回京都大学グローバル COE 主催講演会：ユニット D）

企 画：子安増生（教育学研究科）

日 時：2011 年 7 月 15 日（金）13 時 00 分～14 時 30 分

場 所：京都大学教育学部（本館）1 階 第一会議室

講 師：増田貴彦博士（カナダ・アルバータ大学准教授）

演 題：東洋のパースペクティブ・西洋のパースペクティブー視覚芸術、メディア、カルチュラル・プロダクツの文化比較研究

第 2 回京都国際図書館フォーラム（第 4 回グローバル COE 主催シンポジウム）

企 画：川崎良孝（教育学研究科）

主 催：京都大学大学院教育学研究科グローバル COE プログラム、第 2 回京都国際図書館フォーラム実行委員会、京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室

日 時：2011 年 8 月 8 日（月）9 時 45 分～17 時 00 分

場 所：京都大学大学院教育学研究科第 8 演習室（総合研究 2 号館・地階）

題 目：メディア空間としての図書館

発表者：安里のり子（ハワイ大学）、吉田右子（筑波大学）、久野和子（京都大学大学院図書館情報学研究室助手）、呑海沙織（筑波大学）、周吉（チョウ・チー、上海税関大学）、小林卓（実践女子大学）、高鋤裕樹（大阪教育大学）、福井佑介（京都大学大学院教育学研究科）アンドリュー・ヴェルトハイマー（ハワイ大学）、川崎良孝（京都大学）

進 行：ナンシー・リー（京都大学高等教育開発推進機構）、三浦太郎（明治大学）

Symposium “Happiness”（第 9 回グローバル COE 主催国際シンポジウム：ユニット D）

企 画：鈴木晶子（教育学研究科）、クリストフ・ヴルフ（ベルリン自由大学）

日 時：2011 年 10 月 11 日（火）14 時 30 分～17 時 30 分

場 所：京都大学時計台記念ホールⅢ

テーマ：Happiness

発表者：クリストフ・ヴルフ、ヨルク・ツィルフアス、子安増生、河合俊雄

ヴィガー教授講演会（第39回京都大学グローバルCOE主催講演会：ユニットD）

企 画：山名 淳（教育学研究科）

日 時：2011年10月26日（水）14時45分～16時15分

場 所：総合研究2号館1階 第2演習室

司会・通訳：山名 淳（教育学研究科）

講 師：Prof. Dr. Lothar Wigger（ローター・ヴィガー教授）

演 題：Hegels Bildungstheorie und die moderne Bildungsforschung

（ヘーゲルの人間形成理論と現代の人間形成研究）

コメンテーター：西平 直（教育学研究科）

ベンスーサン教授公開講演会（第40回京都大学グローバルCOE主催講演会：ユニットD）

主 催：京都大学グローバルCOE「心が活きる教育のための国際的拠点」、  
京都ユダヤ思想学会

企 画：小野文生（グローバルCOE）

日 時：2011年11月15日（火）午後12時30分～16時00分

場 所：京都大学大学院文学研究科 新館第3講義室

講演者：Prof. Gérard Bensussan（ストラスブール大学哲学部教授）

題 目：» Naasé venichmah dans l' œuvre de Levinas «

「レヴィナスの作品におけるナアサー・ヴェニシュマー [われわれは行い、聴く]」

司 会：小野文生（グローバルCOE）

通 訳：西山達也（東京大学）

コメンテーター：合田正人（明治大学）・杉村靖彦（京都大学）

京都大学グローバルCOE-ランカスター大学心理学部共催シンポジウム（第10回グローバルCOE主催国際シンポジウム：ユニットA）

企 画：齊藤 智（教育学研究科）

日 時：11月24日（木）～25日（金）

場 所：英国ランカスター大学

テーマ：Towards an empirical understanding of cultural, social and evolutionary perspectives in psychological science

発表者：齊藤智、子安増生、明和政子、野村理朗、平石界、Charlie Lewis, Linden Ball, John Towse, Paul Taylor, Sandra Sunram-Lea ほか

プロジェクト活動①：京都大学グローバル COE プログラム「心が活きる教育のための国際的拠点」

「Deep Learning にもとづく大学教育のあり方」(第 5 回グローバル COE 共催シンポジウム：ユニット D)

企 画：松下佳代 (高等教育研究開発推進センター)

日 時：2011 年 12 月 1 日 (木) 14 時 00 分～17 時 30 分

場 所：京都大学芝蘭会館別館 (2 階研修室)

テーマ：Deep Learning にもとづく大学教育のあり方

講演者：Ferenc Marton (Professor Emeritus, University of Gothenburg)

パネルディスカッション：溝上慎一 (京都大学), 松下佳代 (京都大学)

コメント：フェレンス・マルトン (ヨーテボリ大学名誉教授)

グローバル COE 総括シンポジウム (第 5 回グローバル COE 主催シンポジウム)

日 程：2011 年 12 月 11 日 (日) 10 時 00 分～17 時 45 分

場 所：京都大学時計台記念館国際交流ホール I～III

発表者：藤田和生、櫻井芳雄、吉川左紀子、齋木潤、辻本雅史、船橋新太郎、齋藤智、板倉昭二、杉本均、川崎良孝、杉万俊夫、楠見孝、河合俊雄、桑原知子、やまだようこ、齋藤直子、鈴木晶子、松下佳代、ルプレヒト・マッティク、子安増生、大山泰宏

コメンテーター：木下富雄、草郷孝好

第 1 回 サービスサイエンスと文化研究会 (グローバル COE 主催研究会)

企 画：内田由紀子 (こころの未来研究センター)

日 時：2011 年 12 月 16 日 (金) 14 時 30～16 時 00 分

場 所：こころの未来研究センター (会議室 225)

演 題：サービスサイエンスにおける共創：文化心理学的フレームワークの援用

講演者：阿久津 聡 (一橋大学大学院国際企業戦略研究科)

第 5 回京都大学大学院教育学研究科-ロンドン大学教育研究所国際シンポジウム「翻訳における文化と主体／主観性」(第 11 回グローバル COE 主催国際シンポジウム：ユニット C)

企 画：齋藤直子 (教育学研究科)

日 時：2011 年 12 月 17 日 (土) 9 時 00 分～17 時 30 分

場 所：芝蘭会館別館 (研修室 2)

テーマ：Culture and Subjectivity in Translation

講演者：Paul Standish (ロンドン大学教育研究所), René Arcilla (ニューヨーク大学)、酒井直樹 (コーネル大学)

シンポジウム：「こころ」を知る、「こころ」を活かす（第6回グローバルCOE主催シンポジウム）

日時：2012年1月7日（土）13時00分～17時00分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス（東館ホール6階）

主催：京都大学グローバルCOEプログラム「心が活きる教育のための国際的拠点」および慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」

司会者：山本淳一（慶應義塾大学）、杉本均（京都大学）、杉浦章介（慶應義塾大学）

発表者：渡辺茂（慶應義塾大学）・子安増生（京都大学）、北中淳子（慶應義塾大学）・杉万俊夫（京都大学）・梅田聡（慶應義塾大学）・桑原知子（京都大学）

討論者：渡辺茂・北中淳子・梅田聡・子安増生・杉万俊夫・桑原知子

京都大学・西江大学 日韓メディア文化研究 国際交流シンポジウム（グローバルCOE公開セミナー：ユニットB）

日時：2012年2月2日（木）12時30分～17時40分

場所：京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホールI

主催：京都大学大学院教育学研究科、西江大学校言論文化研究所、BK21ヘルスコミュニケーション研究チーム

発表者：辻本雅史（京都大学）、ウォン・ヨンジン（西江大学）、ユ・ソヌク（西江大学）、大山牧子（京都大学）、ノ・ヒョンシン（西江大学）、塩原佳典（京都大学）、パク・ヨンフム（西江大学）、棒隆二（京都大学）、チェ・ヒサン（西江大学）、千葉悠志（京都大学）、福井佑介（京都大学）、パク・サンヒ（西江大学）、福井孝宗（京都大学）、キム・ジマン（西江大学）、日高利泰（京都大学）、キム・ボア（西江大学）、シン・ホチャン（西江大学）、佐藤卓己（京都大学）